

## 12 教育指導部

〈井田病院における初期臨床研修医教育の概要〉

教育指導部は、主に初期臨床研修医の教育を計画・運営しております。

井田病院では、2004年に新たな卒後臨床研修制度の発足とともに、管理型（後に一部の制度変更に伴い基幹型）研修病院として2年間のプログラムで初期研修医を受け入れるようになりました。小児科・産科など当院で診療していない科は川崎市立川崎病院を協力型病院として充実した研修を行えるようにしました。逆に、井田病院は川崎病院の協力型病院として、川崎病院の初期研修医の地域医療研修を受け入れ、相互に補完できるようになりました。

卒後臨床研修制度開始時は当院の定数は2名でしたが、2008年からは3名に増えました。又、慶應義塾大学病院の地域循環型コースに参加し、初期臨床研修医を1年次に1年間お引き受けしています。

2013年には2011年に続き2回目のNPO法人卒後臨床研修評価機構による外部評価を受け、2014年1月1日付で認定を受けました。今後も研修医を育成するにあたり、自治体病院としての使命のもと、地域の医療を支え市民が医療に求める負託に応えられる医師を育成してまいりたいと思います。

〈教育指導部の変遷〉

歴代の教育指導部長は次の先生方でした。

	氏名	在任期間
初代	小柳 貴裕	2007年4月～2009年3月
2代	岡野 裕	2009年4月～2010年3月
3代	宮本 尚彦	2010年4月～2011年3月
4代	麻薙 美香	2011年4月～現在に至る

部長以外の教育指導部は、担当課長（庶務課長兼務）、担当係長の3名で、2013年度は齋藤昭之課長、大谷伸明係長と共に業務にあたりました。

〈現在までの研修医〉

採用年度	氏名	出身校	進路
2004年度	佐藤 知美	慶應義塾大学	慶應義塾大学付属病院外科
	俵矢 英輔	藤田保健衛生大学	慶應義塾大学付属病院脳外科
2005年度	鹿子生 祥子	慶應義塾大学	慶應義塾大学付属病院小児科
	泉 圭	慶應義塾大学	慶應義塾大学付属病院精神科
2006年度	奥野 祐次	慶應義塾大学	江戸川病院整形外科
	永田 充	東京慈恵会医科大学	岸和田徳洲会病院 内視鏡センター
2007年度	荒木 耕生	慶應義塾大学	慶應義塾大学付属病院小児科

	荒木 奈帆	慶應義塾大学	慶應義塾大学付属病院麻酔科
2008年度	石井 正嗣	東京医科大学	慶應義塾大学付属病院外科
	木崎 尚子	東京女子医科大学	東京女子医科大学付属病院産婦人科
	谷口 紫	昭和大学	慶應義塾大学付属病院眼科
2009年度	海野 寛之	新潟大学	慶應義塾大学付属病院内科
	原田 佳奈	慶應義塾大学	川崎市立川崎病院産婦人科
2010年度	江頭 由美	愛媛大学	慶應義塾大学付属病院外科
	大西 英之	慶應義塾大学	慶應義塾大学付属病院眼科
2011年度	長谷川 華子	熊本大学	慶應義塾大学付属病院内科
	安田 毅	日本医科大学	日本医科大学付属病院精神科
	龍神 操	横浜市立大学	慶應義塾大学付属病院皮膚科
2012年度	戸谷 遼	慶應義塾大学	慶應義塾大学付属病院麻酔科
	成松 英俊	慶應義塾大学	慶應義塾大学付属病院放射線診断科
2013年度	阿南 隆介	慶應義塾大学	研修中
	曾根原 弘樹	千葉大学	研修中

(文責 教育指導部長 麻薙 美香)